

取扱説明書



ドルフィン イースα

株式会社ジェイ・シー・イー・オーバースィーズ

この度はプール清掃ロボット ドルフィンエースαをお買い上げいただき、誠に有難うございました。プール清掃ロボット ドルフィンを今後ともより長く、より良い状態でご使用頂く為に、この説明書を良くお読みの上、正しくご使用頂きたいようお願い申し上げます。

弊社では製品のアフターサービスに万全の体制を整えております。今後とも宜しく
お願い申し上げます。

御使用上のご注意

- * ドルフィンを水中から引き上げる前に、必ず電源ユニットのスイッチをお切り下さい。
- * ドルフィンを水中以外では絶対に作動させないで下さい。作動させた場合は、保証の対象外になり、修理は全て有料となります。ドルフィンは内部のコンピューターで水中外動作を常にチェックしており、動作状況が記録されます。十分に御注意を下さい。
- * ドルフィンの電源ユニットを長時間直射日光に当てないで下さい。故障の原因になります。
- * リモートコントロールユニットを絶対に水に入れたりしないで下さい。故障の原因になります。

目 次

1) ドルフィンを安全に御使用頂く為に	2
2) ドルフィンのセットアップ	2
3) ドルフィンを動作させるために	9
4) 清掃モード	9
5) プールからのロボット引き上げ	10
6) 動作部 (トラック、車輪、インペラー) からのゴミの除去について	11
7) 参考として	12
8) 仕様	13
9) 困った時には (取扱上の注意点、及びトラブルの原因と対策)	16

1) ドルフィンを安全に御使用頂く為に

1-1) 電源ボックスの設置場所

ドルフィン、及び電源 BOX は、プールのすべてのコーナーにケーブルが届く位置に配置して下さい。

注意：ドルフィンを動作させる場合は、なるべく電源 BOX は直射日光の下ではなく、日陰に置くようにして下さい。

1-2) 電源ボックスの供給電圧

電源プラグは、アース端子付の AC100V のコンセントに接続してください。

アース端子が無い場合は、電源ボックスは、必ずアースを取ってから接続してください。

ドルフィンには、専用電源 BOX で、稼働させて下さい。他の電源へは絶対に接続しないで下さい。

注意：ドルフィンの稼働中は、プールに絶対に入らないで下さい。

2) ドルフィンのセットアップ

2-1) キャディの組立 (14 ページを参照)

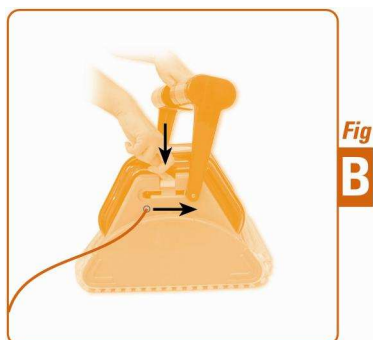
キャディの組立を行なう場合、必ず下記の説明を良くお読みになり、また、添付の組立図を参考に組立を行って下さい。

* 支柱はネジをはめる穴が見えるまでしっかりと挿し込んで下さい。

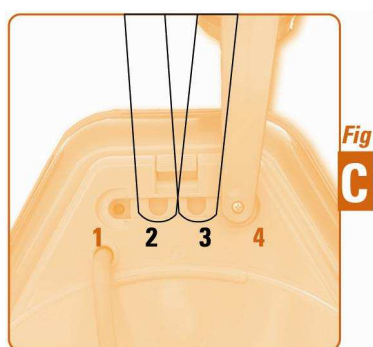
注意：ネジ類は 2 種類ありますので、組立図の記載に従って下さい。

2-2) ハンドルの使用方法

ドルフィン エース α には、清掃時に喫水線を清掃するモードがあり、壁面を横に移動する為、上部のハンドル[15ページ-2]をドルフィン本体の両側にあるスロットで調節し、本体に対して斜めになる位置にセットします。

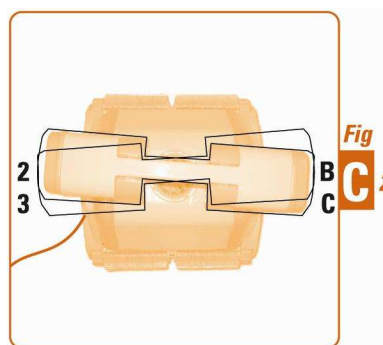
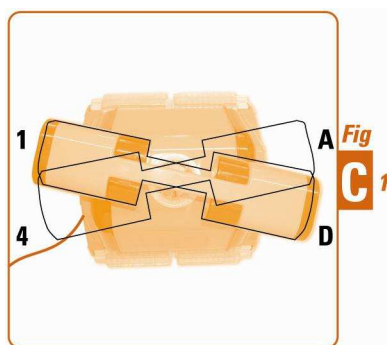


それぞれのハンドルラッチ[15ページ-3]を下へ押し[Fig B]、ハンドルの左右を動かして下さい。2つのハンドルラッチを異なる位置でハンドルをセットすることで角度を変えることができます。[15ページ-4][Fig C]。



ハンドルの通常的位置[Fig C-1]は、水際での通常の横の動きを行なうための配置となります。

Fig C-2 の位置は、水際でのゆっくりした横の動きを行なうための配置となります。



2-3) リモートコントロールユニット (以下「リモコン」)

リモコンは、長時間直射日光に当てることや、水に濡らすことのないように気をつけてください。

リモコンにはデジタルスクリーン、ソフトタッチボタンとマニュアル動作の時に使用する方向矢印があります。

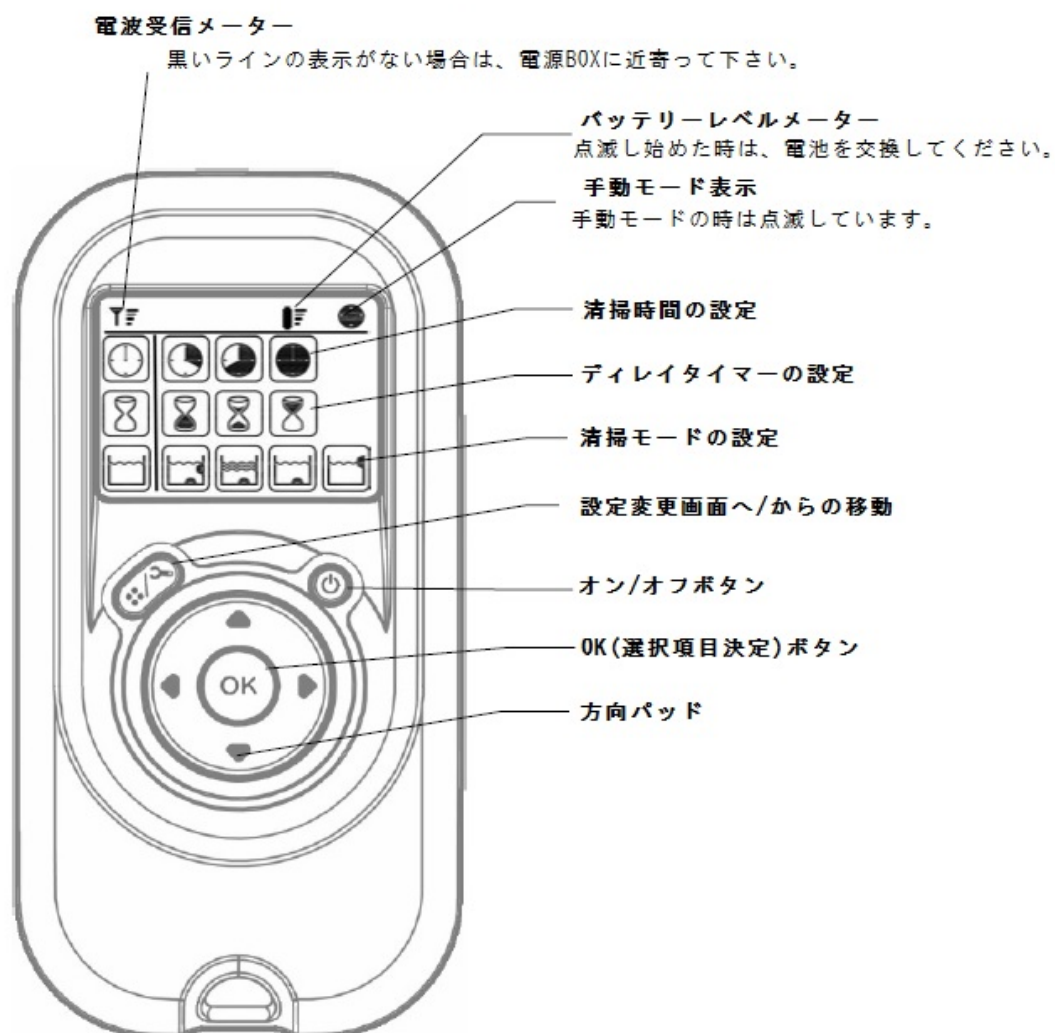
リモコンを使用して、各設定変更と手動によるドルフィンのコントロールが可能です。



次ページの図でリモコンの概略及び各機能について説明します。














リモコンの概略図

リモコンのコントロールパネル



次にリモコンの各アイコンについて説明します。

リモコンの各アイコンの説明

 <p>清掃時間 起動後の清掃時間 を設定します。</p>	 <p>(初期設定) 4時間</p> <p>25m プール 初期設定</p>	 <p>6時間</p>	 <p>8時間</p> <p>50m プール 初期設定</p>	
 <p>ディレイタイマー 選択後、清掃を開始 するまでのタイマ ーを設定します。</p>	 <p>すぐに清掃開始</p>	 <p>選択後、1時間後に 清掃開始し、設定し た時間稼働します。</p>	 <p>選択後、2時間後に 清掃開始し、設定し た時間稼働します。</p>	
 <p>清掃モード 壁上りの有無など 清掃モードを設定 します。</p>	 <p>標準 床と喫水線の清掃</p> <p>25m プール 初期設定</p>	 <p>ウルトラクリーン ゆっくりと床と喫 水線の清掃を行 います</p>	 <p>床のみ 壁上りはしません。</p> <p>50m プール 初期設定</p>	 <p>壁上りと喫水線中 心の清掃</p>

- ・ **25m プール**は **4時間清掃・標準モード**が推奨設定です。
- ・ **50m プール**は **8時間清掃・床のみモード**が推奨推奨設定です。
- ・ どのボタンも押さずに約 **2分**経過しますリモコンの電源が切れ、プールクリーナーはそれまでの設定で動作し続けます。
- ・ 「ウルトラクリーン」か「壁上りと喫水線中心の清掃」のオプションが動作を完了すると、リモコンは標準(初期設定)に戻ります。
- ・ 清掃モードの変更はモーターが稼働している時のみ可能です。
- ・ モーター交換の推奨時間は **3000時間**です。

設定している清掃時間や使用状況により、使用できる回数は増減します。

*モーターの寿命は最大で **4500時間**程度です。

リモコンの使い方

1. 遠隔操作の方法：汚れの集中しているところへ手動でロボットを移動させ、掃除することが可能です。

① ロボットが左右に約 10 秒ずつ回転し (20～30 秒)、直進を始めたことを確認して リモコンの(⏻)を押して電源をオンにして下さい。

② 方向パッドの▲を押すと前進、▼を押すと後退、▶を押すと右回転、◀を押すと左回転します。

リモコンは操作せずに約 1 分経過すると表示が消え、手動モードから自動モードに切り替わります。

2. リモコンを使って次の設定が可能です。

1) 稼働時間： 4 時間、6 時間、8 時間

2) スタート時間： すぐにスタート、1 時間後、2 時間後

3) 清掃範囲とモード：底面＋壁面（**16 分に 1 回**）の標準清掃、ウルトラクリーン、底面のみの標準清掃、壁上りと喫水線中心の清掃

以上 3 種類の設定は、1 度に行います。

① ロボットが動き出したことを確認し、リモコンの(⏻)を押して電源をオンにして下さい。約 5 秒間待ち、リモコンの設定画面が消えたことを確認して下さい。

② (🔘)を押して 3 種類の設定画面を表示させます。点滅部分が設定箇所になりますので順番に設定していきます。

③ 上から順番に、1 段目は稼働時間の設定：Ⓞ4 時間、Ⓞ6 時間、Ⓞ8 時間のいずれかを方向パッドで選択します。

次に 2 段目に移動しスタート時間の設定：Ⓞすぐに開始、Ⓞ1 時間後に開始、

Ⓞ2 時間後に開始のいずれかを方向パッドで選択します。

最後に 3 段目に移動し清掃範囲と清掃モードの設定：左から順番に「底面と壁面の標準清掃」、「ウルトラクリーン」、「底面のみの標準清掃」、「壁上りと喫水線中心の清掃」のいずれかを方向パッドで選択します。

④ 3 種類の選択が終了したら、「OK」を押します。3 種類の設定が表示されます。

⑤ 設定終了の場合は、(⏻)を押して電源をオフにします。設定を修正される場合は、一旦(⏻)を押して電源をオフにし始めからやり直して下さい。

注意：1. 稼働時間は 1 度設定しますと、変更するまで同じ設定時間動作します。

2. ディレイタイマー設定は、その都度リモコンで設定する必要があります。

清掃終了後は「すぐに清掃開始」の設定に戻ります。

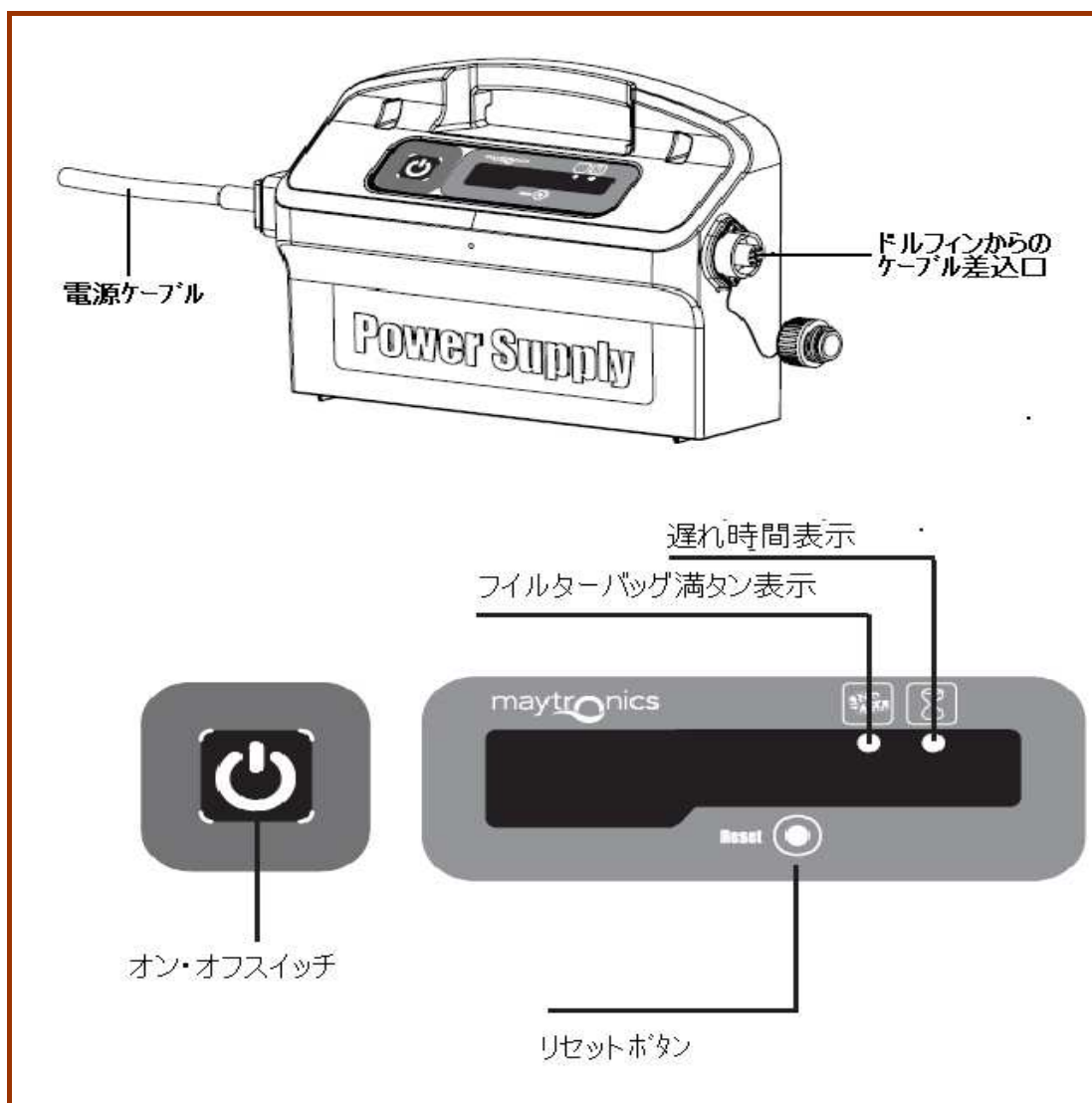
3. 清掃モードは、「底面と壁面の標準清掃」と「底面のみの標準清掃」の設定のみ保存されます。

「ウルトラクリーン」と「壁上りと喫水線中心の清掃」は、その都度リモコンによる設定が必要となります。

2-4) 電源 BOX

電源の前面部分に、ドルフィンが動作しているか、フィルターバッグの状態表示、遅れ時間表示を示すインジケーターがあります。以下の図面にて概要を示します。

電源 BOX の見取り図



3) ドルフィンを動作させるために

1. ドルフィンのケーブルを電源 BOX に差し込みます (8 ページ・電源 BOX の見取り図参照)
2. 電源 BOX の電源ケーブルをメイン電源に差し込みます。
3. 電源 BOX のオン・オフスイッチを押します。

これでドルフィンは動作を開始します。

4) 清掃モード

ドルフィン エース α は、自動モードと手動モードの 2 通りの動作が可能です。自動モードで稼動中でも手動機能が使用でき、手動モードをオフにすれば、自動モードに切り替わります。

4-1) 手動モード

手動モードを使用することで、特定のエリアを重点的に清掃することができます。リモコンの方向ボタンで、ドルフィンを自由自在に動かすことが出来ます。

注意：もし手動モードで 30 秒以上操作しない場合、自動的に自動モードに切り替わります。

リモコンから、清掃モードの変更/修正が可能です。ドルフィンがプールで稼動している時に、変更/修正された設定は、リモコンからドルフィンへ送られます。

4-2) 自動モード

自動モードでは、ドルフィン自身で、最適な清掃方法を計算し、清掃を最後まで自動で行ないます。

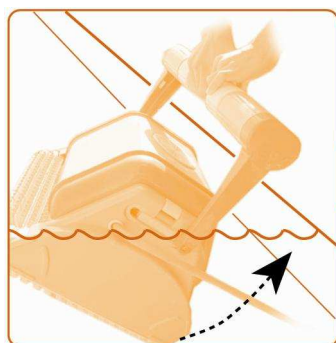
工場出荷時は、初期設定値がプログラムに書き込んでありますが、リモコンにより変更が可能です。

リモコンで変更/修正をしない限り、次回も同じ設定で動作します。

※ディレイタイマーとウルトラクリーン、壁上りと喫水線中心の清掃の設定は保存されません。

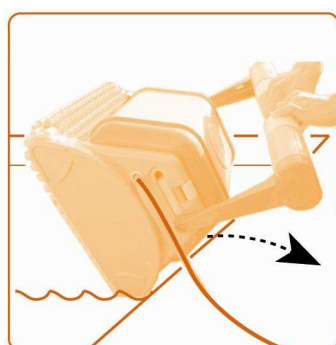
5) プールからのロボット引き上げ

電源スイッチを切ってから行なってください。



* 静かにケーブルを引いて、ドルフィンを引き寄せて下さい。

ドルフィンに手が届くところに来たら、ハンドルをつかみ、ドルフィンを図 [Fig E] のようにプールから引き上げて下さい。

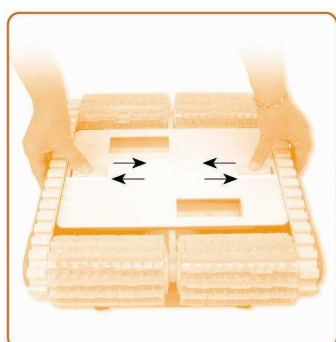


* 引き上げる際は必ず本体を持ち、絶対にケーブルを引っ掛けて持ち上げないで下さい。(故障の原因となります)

* ハンドルをつかんで逆さまにし、プールの端に置き [Fig F]、内部にたまっているすべての水を抜いてください。

* ドルフィン本体裏の、2つのロックングクリップ [16ページ-7] をスライド [Fig G] させ底蓋をはずして下さい。 [Fig H]

* 2つのフィルターバッグクリップ [16ページ-9]、およびフィルターバッグを取りはずして下さい。 [16ページ-10]





* フィルターバッグをひっくり返して水洗いして下さい。[Fig I]

フィルターバッグは、少なくとも2ヶ月に一度洗濯して下さい。

* その他のフィルタークリップや底蓋も、清掃するようにして下さい。



* 図[Fig J]のように、フィルタークリップを両側にかけて、フィルターバッグのタグが底蓋の長辺の真ん中になるように取り付けます。

* 底蓋の金属部分にかけてフィルターバッグを取り付け、形を整えて下さい。

* 金属のフレーム上部にかかったフィルター部分を真ん中に寄せます。

* フィルターバッグクリップを取り付けて下さい。[Fig J]

* 正しい位置に底蓋を取り付け、ロッキングクリップ [16 ページ-9] を止めて下さい。

6) 動作部 (トラック、車輪、インペラー) からのゴミの除去

警告: インペラーチューブ[16 ページ-11]を取り外す前には、必ず電源を切して下さい。



* インペラーチューブは、回して外し、インペラーについているゴミを取り除くことができます。

[Fig K]

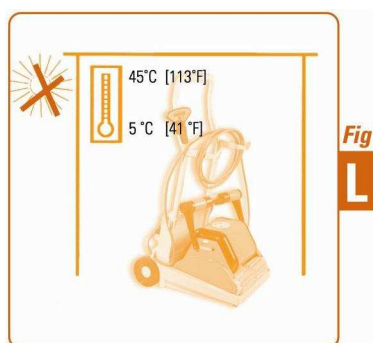
* 動きを妨げる異物や毛髪どを取り除いて下さい。[16 ページ-12]

インペラーは、ドライバーでネジを取り、外すことができます。

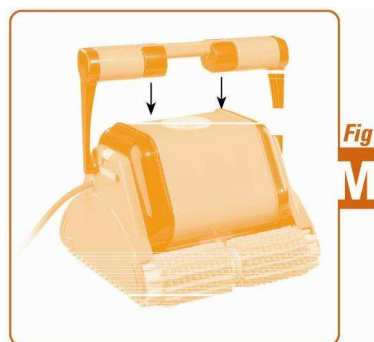
* ブラシ[16 ページ-15]とトラック[16 ページ-13]の間にあるゴミを取り除いて下さい。

7) 参考として

- * 付属品として、予備のフィルターバッグが同封されています。
- * フィルターバッグは、清掃終了後に掃除をし、常に清潔に保ってください。フィルターバッグを汚れたまま放置しますと、汚れがこびりついてとれなくなり、次回のご使用の際支障をきたします。
- * ブラシ[15ページ-15]は、水洗いなどを行ない、汚れを落として下さい。
- * 繰り返し清掃する場合は、電源を切ってから1分程度の時間をおいて下さい。
- * キャディにドルフィンを置いておく場合、5℃から45℃の温度の場所で保管して下さい。



- * キャディのフックにゆったりとケーブルを巻きつけて下さい。[Fig L]
- * PVCブラシは、洗って水気を切ってください。
- * グリップブラシは劣化をふせぐために、水分を含んだ状態にしておいて下さい。
- * 最初にご使用の場合になる際、ドルフィンが水面ラインに達し、それ以上に高く登って、しまうことがあります。そのような場合は、ハンドルのフロートを外してください。[Fig M]



- * 付属品のフィルターバッグや、古いフィルターバッグの廃棄処分については、代理店にお尋ね下さい。
- * 問題が発生した場合には、16ページの“困った時には”を読んで下さい。

8) 仕様

性能

地上速度(計算値)	900m / 時
動作範囲 (計算値)	498m ² / 時
吸入量	18,000L / 時
重量 (ケーブル無し)	10kg

電源部

入力電圧	100VAC
出力電圧	25VDC / 通常
定格出力	190VDC

これらの仕様は、プール状況の変化や、様々な電源供給状況のために、一定ではありません。

ドルフィンは、全ての形状のプールを、完全に清掃できる品物ではありません。製造業者の考える形状のプールにとって適当でなければ、ドルフィンの性能を保証するものではありません。

注意：弊社サービス部門以外の方が、封印されたモーターユニット、電源および、ドルフィン本体を修理しようとした場合（開けた場合も含む）、自動的に保証が無効となり、修理をお断りすることがあります。

モーター交換の推奨時間は3000時間です。

設定している清掃時間や使用状況により、使用できる回数は増減いたします。

*モーターの寿命は最大で4500時間程度です。

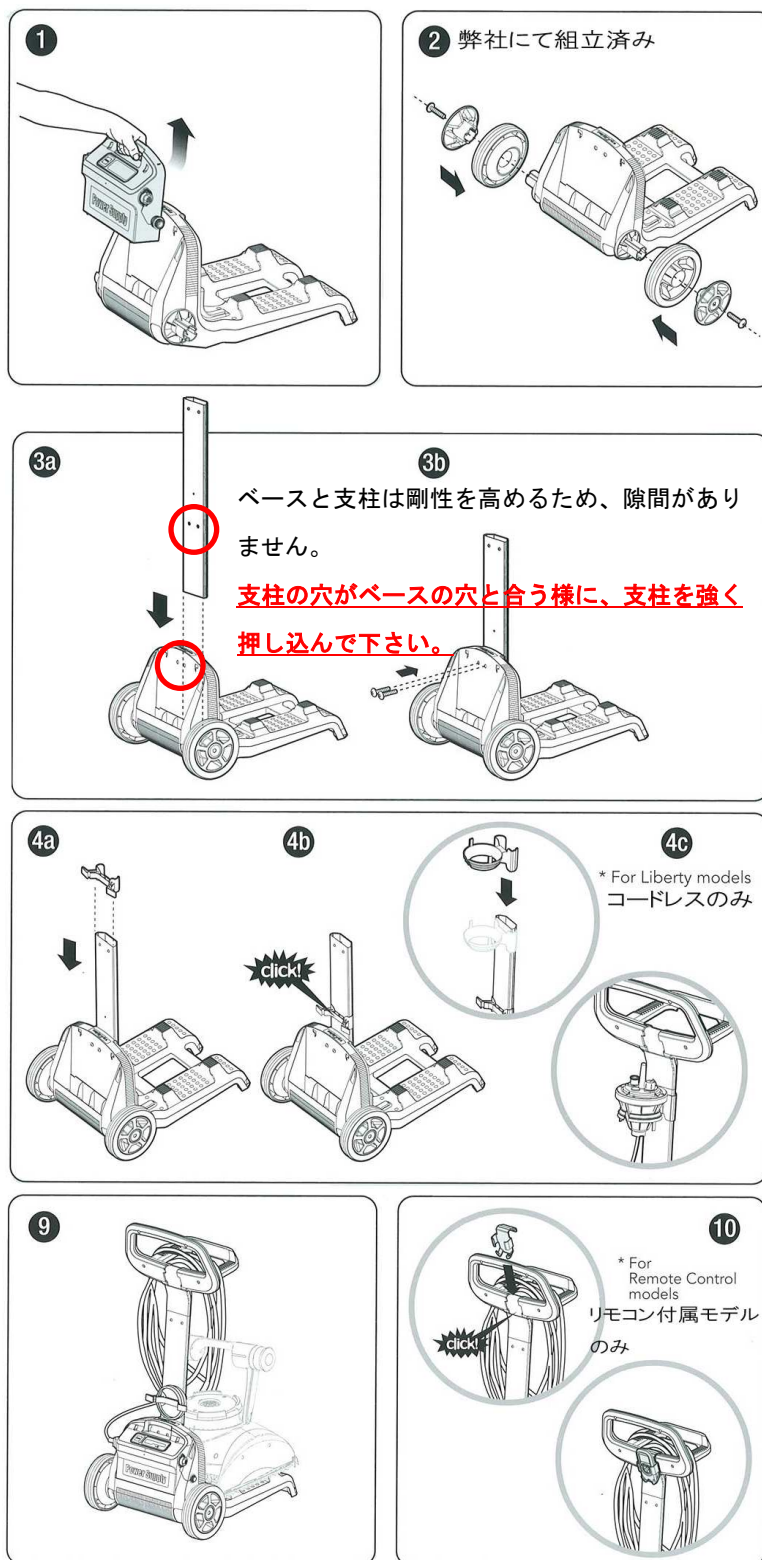
製造業者は、予告なくこれらの仕様を変更する権利を有します。

アメリカ合衆国特許番号：4168557.

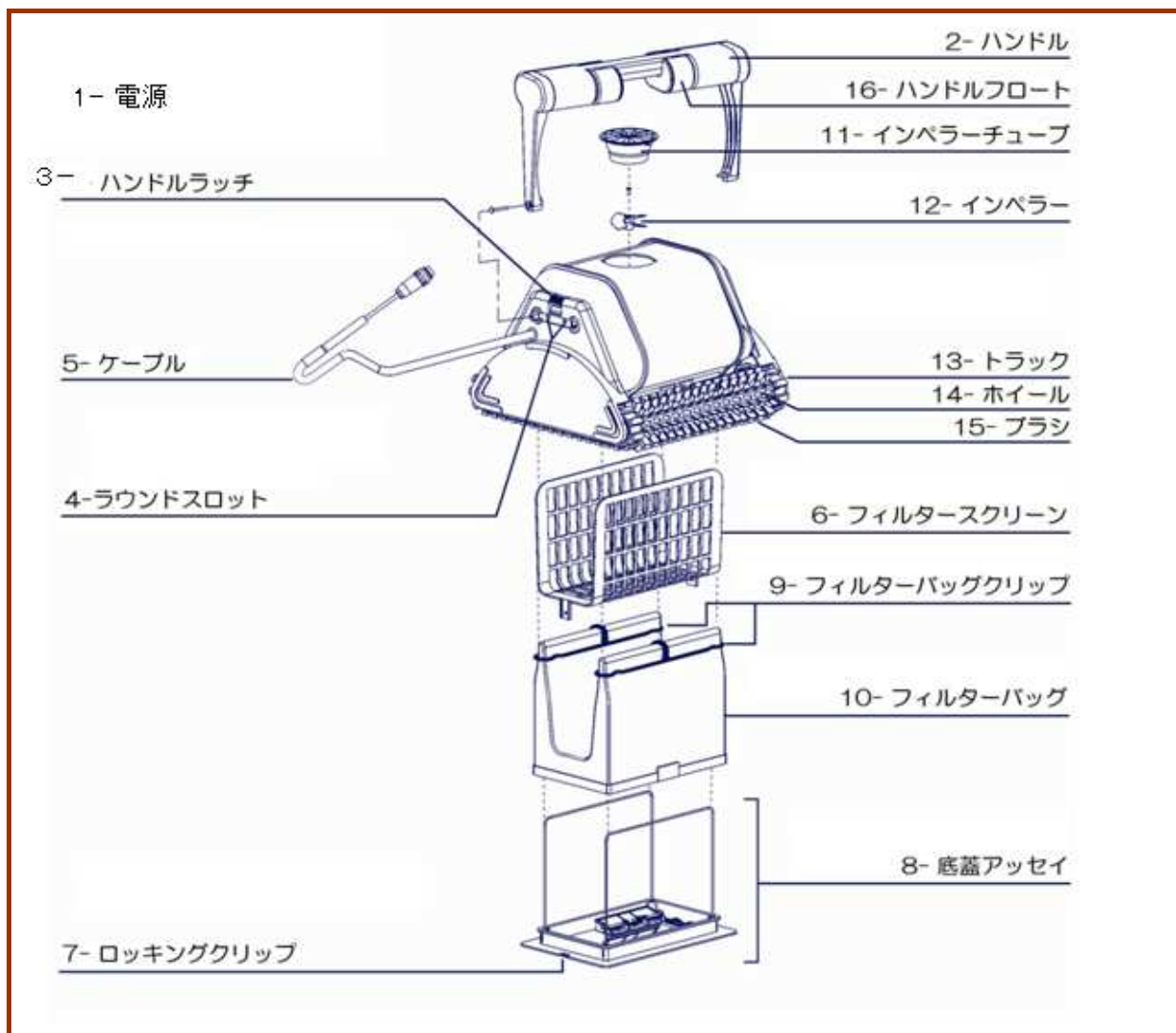
S.A.特許番号：76/7474

AUST 特許番号：509698

キャディ組立図



ドルフィン分解図及び部品名



困った時には（取扱上の注意点、及びトラブルの原因と対策）

問題点	原因	対策
ケーブルのよじれや、とぐろを巻いた状態	<ul style="list-style-type: none"> * ハンドルの向きを常に同じ方向で使用している。 * プールの中に障害物がある。 * プールが特殊な形状である。 * 吸水口カバーが詰まっている。 * 上記のすべての場合 * 余分なケーブルがプールの中に入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> → 毎回、ハンドルの方向を変えて下さい。 → 障害物を取り除いて下さい。 → さる環付きのケーブルを、お使い下さい。 → フィルターをはずし、吸水口カバーを、セットし直して下さい。 → 定期的にケーブルを真っ直ぐに直し、日干しをして下さい。 → 余分なケーブル部分を、プールから引き出して下さい。
ドルフィンが円を描くように同じところをグルグル回ってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> * 作動部分が、ごみなどで汚れている、又は、詰まっている。 * フィルターバッグの目詰まり。 * 摩耗、裂け目などによる、トラックの消耗。 * 電源 BOX の配置場所が適当でない。 * 底板アッセイの取付け不良 	<ul style="list-style-type: none"> → 作動部分から、ゴミを取り除いて下さい。 → フィルターバッグを掃除して下さい。 → トラックを交換して下さい。 → すべてのプールの壁にドルフィンが届く位置に、電源 BOX を置いて下さい。 → 底板アッセイを正しく取り付け、ロックをして下さい。
プールの隅々まで掃除を行なわない。	<ul style="list-style-type: none"> * 電源 BOX の配置場所が適当でない。 * プールの壁を登らない。 <ul style="list-style-type: none"> - プールの底や壁に、藻が発生している。 - プールの濾過装置が作動している。 - 登らない壁がある。 	<ul style="list-style-type: none"> → 一番遠くの対角までケーブルが届く位置に、電源 BOX を置いて下さい。 → 下記の事を確認して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> - 壁や底の藻をブラシなどで取り除いて下さい。 - プールの濾過装置を止めて下さい。 - ハンドルの方向を変えて下さい。

問題点	原因	対策
プールの壁を登らない。	<ul style="list-style-type: none"> * ドルフィン本体が重い。 * シーズン初めでプールの中に大きなゴミがある。 * 壁に藻がある。 * 水温が高すぎるか、低すぎる。 * ブラシが消耗している。 * タイルの壁で、滑りやすい。 * ごみがインペラーの周りに付着している。 * ドルフィン本体が軽い。(空気が入っている) * PH 値が適当でない。 * ブラシやその他ロボットの不具合。 	<ul style="list-style-type: none"> → フィルターバッグを掃除し、中身を取り除いて下さい。 → 目の粗いフィルターバッグをお使い下さい。 → 壁の藻をブラシなどで取り除いて下さい。 → 水温は、12・32℃を推奨します。 → ブラシを交換して下さい。部品の入手は、代理店にお問い合わせ下さい。 → タイル用の特殊ブラシを代理店にお問い合わせ下さい。 → インペラーチューブを取り外して、インペラーの掃除をして下さい。 → 水中でドルフィンを逆さまにして、内部の空気を抜いて下さい。 → PH レベルは、7 から 7.2 を推奨します。 → 代理店、又は、弊社のサービスセンターにお問合せ下さい。
モーターが動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> * インペラーに異物が挟まっている。 * 駆動部分に、異物が挟まっている。 * 電気関連のトラブル：モーターユニット、ケーブル、又は、電源BOX の不具合。 	<ul style="list-style-type: none"> → インペラーチューブを外し、インペラーの掃除をして下さい。 → トラック及びブラシから異物を取り除いて下さい。 →代理店、又は、弊社のサービスセンターにお問合せ下さい。
ドルフィンが床まで沈まない。	<ul style="list-style-type: none"> * フィルターバッグに空気が入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> → 水中でドルフィンを逆さまにして、内部の空気を抜いて下さい。 →フィルターバッグをよく掃除して下さい。それでも改善されない場合はフィルターバッグを交換してください。

問題点	原因	対策
インペラーチューブから空気の泡が出てくる。 ドルフィンが水面より上に向かって、壁上りをする。	* ドルフィンの浮力バランスが悪い。	→ ハンドルフロートを取り外して下さい。
不注意による故障	<ul style="list-style-type: none"> * ドルフィンにダメージを与えてしまった。 * 電源 BOX 側のケーブルを引っ張った。 * ドルフィンの日常メンテナンスを行なわなかった。 * ドルフィンを水中以外で、作動させた。 * 電源 BOX、リモートコントロールユニットを水に濡らしてしまった。 * 液漏れ、切れた乾電池を、リモートコントロールユニットに入れっぱなしにした。 * ドルフィンに摩耗、裂け目がある。 	<ul style="list-style-type: none"> → 壊れた部品、ダメージの有る部品を交換して下さい。 → ケーブルコネクターを点検、修理して下さい。 → フィルターバッグ、ドルフィンを清掃するか、新しいフィルターバッグを購入して下さい。 → モーターシールが破損した可能性がありますので、モーターユニットを交換して下さい。 → 内部の破損した可能性がありますので、修理を依頼するか、交換して下さい。 → リモートコントロールユニットの乾電池を交換して下さい。 → ドルフィンをサービスセンターに送り、修理を依頼して下さい。
LED ランプが点灯しない。	* 電気トラブルが発生しています。	→ ドルフィンをサービスセンターに送り、修理を依頼して下さい。
電源 BOX のフィルターバッグ満タン表示が： <ul style="list-style-type: none"> － ランプが正常に作動しない － ランプが、フィルターバッグを掃除、交換したにも関わらず、消えない。 	<ul style="list-style-type: none"> * 電源ユニットに電気トラブルが発生しています。 * 水中以外でドルフィンを作動させた。 	<ul style="list-style-type: none"> → ドルフィンをサービスセンターに送り、修理を依頼して下さい → ドルフィンは水の中でご使用下さい。電源 BOX のリセットボタンを押して下さい。

万一故障と思われる場合は

- 1) 本機をセットする前の状態に戻し、故障内容の説明をサービスセンターに付けて送付して下さい。その際、電源 BOX も合わせて必ず送り下さい。
なお、本機梱包のダンボールは捨てずに、故障時に通函としてご利用下さい。
- 2) 修理完了品は、到着後動作チェックを使用するプールなど水中で行って下さい。
- 3) 本機を送付して頂く場合は、**片道送料をお客様でご負担お願い致します。**
又、送付時の送り状控え伝票は、修理品がお客様に到着するまで保管して下さい。
- 4) 本機は予告なく改造、部品変更、修理代金等を諸般の事情により改定する場合がありますのでご了承下さい。
- 5) 本機のご使用をお客様が本来の使用目的と異なる用途に用いられた場合、又は、当社の了解なく、お客様が本機を改造、修理した場合は責任を負いません。
- 6) 本機取扱説明に従わずご使用された場合、乱雑なご使用によって生じる欠陥の損害は、一切当社の責任に負いかねることをご了承下さい。
- 7) 修理時の代替機については、**有償修理かつ弊社に代替機の在庫がある場合、ロボットの検査と確認を行った後出荷いたします。**

メンテナンス・サービスについて

当社は、ドルフィンの正規輸入代理店として製造元から認定部品の供給と修理メンテナンスの指導を受けております。

保証期間はモーター使用時間が 3000 時間を越えるまでの購入日より最大 3 年です。保証期間中は無償修理させていただきます。

但し、電源コード、フィルターバッグ、フィルタークリップ、キャディ（台車）及び底ブタは別途といたします。

また、保証書の紛失、お客様の記入内容の誤り及び書き直し等の場合は、無償修理が受けられない場合もありますので、保証書をご確認の上大切に保管して下さい。

保証期間経過後の修理料金につきましては、弊社サービスセンターにお問合せ下さい。そしてお客様は、修理品到着後ただちに動作チェックを行って下さい。

万一輸送中に故障が発生した場合は、ただちにその旨弊社及び扱い運送会社にご連絡下さい。

独占輸入元/総発売元

株式会社 **ジェイ・シー・イー・オーバークーズ**

〒186-0011 東京都国立市谷保6046-2 JCEビル
TEL 042-577-0521 FAX 042-577-0549

技術サービスセンター

〒186-0011 東京都国立市谷保6046-2 JCEビル
TEL 042-577-5121 FAX 042-577-5127

ホームページ：<http://www.jce-overseas.co.jp>

メール：sales@jce-overseas.co.jp - 営業部
jce.eng@jce-overseas.co.jp - サービス部